

**1. 基本情報**

- (1) 国名：モザンビーク共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：マプト市（人口約130万人）
- (3) 案件名：マプト中央病院新生児棟整備計画（The Project for Construction of Neonatal Facility at Maputo Central Hospital）
- (4) 計画の要約：本計画は、首都マプト市において、マプト中央病院の新生児棟の新設及び医療機材を整備することにより、同病院の小児医療サービスの改善を図り、同国の母子保健サービスの向上に寄与することを目的とする。

**2. 計画の背景と必要性**

- (1) 本計画を実施する外交的意義

モザンビークはインド洋に面するアフリカ南東部の玄関口であり、国際場裏において我が国立場を支持する友好国である。2015年1月には、安倍総理（当時）が同国を訪問し、2017年8月には、我が国が1993年以来主導しているアフリカ開発会議（TICAD）の閣僚会合を同国にて開催する等、近年、二国間関係の強化を進めており、本件を実施することにより、これを更に進めることは外交的意義が大きい。

モザンビークは、1975年の独立から続いた内戦を終結させた1992年の和平協定締結以降は、安定した政情の下、国家再建・経済社会開発を着実に進展させているが、一人あたりGNIは440ドル（2018年世銀）と低く、後発開発途上国（LDC）に位置づけられている。ついては、我が国が、同国の社会・人間開発に向けた取組を後押しすることは、TICADプロセスを通じて表明してきた平和と安定及び貧困削減の後押しに整合するものであり、重要性は高い。

- (2) 当該国における保健セクターの現状・課題及び本計画の位置付け

モザンビーク共和国では、妊産婦死亡率（出生十萬対）は451（センサス2017）で東・南部アフリカ平均384（UNICEF2017）を上回り、新生児死亡率（出生千対）28（UNICEF2019）、5歳未満児死亡率（出生千対）73（UNICEF2017）も依然高い数値を示している。これら母子保健指標の改善には、安心・安全な環境での妊産婦、新生児及び乳幼児への切れ目ない保健医療サービスの提供が必要である。当国政府は「保健セクター戦略計画2020-2024」において、妊産婦・新生児死亡率の改善促進を目指すサービスの質的・量的拡大を戦略の柱の一つに掲げ、母子保健サービス向上の施策を進めている。一方、同国でも新型コロナウイルス感染症（以下「COVID-19」という。）感染が拡大しており、それが上記計画に与える影響が懸念されている。モザンビーク政府は移動や活動の制限等の水際対策を強化し、感染拡大防止に一定の成果をあげているが、COVID-19対策等に重点が置かれているため、妊産婦の産前・産後ケアや新生児を含む子どもの診療機会が失われており、必要な母子保健サービスが十分に提供されていない。

首都圏を含む当国南部におけるトップリファラル病院として、第四次医療レベルのサービスを提供するマプト中央病院は、1978年の開設後、内戦期間中に十分な維持

管理が行われなかった影響もあり、施設等の老朽化が著しい。COVID-19 対応においては、当国指定の他病院から重篤化した COVID-19 患者を受け入れており、同病院の医療従事者及び利用者の感染対策が喫緊の課題となっている。中でも新生児科及び産婦人科は、施設の老朽化や利用者集中に伴う狭小な医療スペース、医療資機材不足、不衛生な環境等により、院内感染予防が徹底されているとは言い難い。また新生児科、産婦人科、小児科が複数の建物に分散して存在しており、非効率な運営が行われている。

こうした状況を踏まえ、「マプト中央病院新生児棟整備計画」（以下「本計画」という。）は、首都に位置する中核病院であるマプト中央病院において新生児棟を整備し、関連診療科の機能を一部集約することで、COVID-19 を含む感染症の院内感染を予防するとともに同病院の小児医療サービスの改善を図るものであり、当国の「保健セクター戦略計画 2020-2024」の重点事項に該当する計画である。

### 3. 計画概要

\* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

#### (1) 計画概要

##### ① 計画内容

###### ア) 施設、機材等の内容

【施設】新生児棟の新設：外来部門（待合室含む）、手術室、集中治療室、入院部門、カンガルーケア室、病院管理部門（スタッフステーション、滅菌室、洗濯室、食堂等）等、総延床面積約 3,700 m<sup>2</sup>

【機材】保育器、超音波診断装置、X線検査装置、手術用機材等

イ) コンサルティング・サービス／ソフトコンポーネントの内容：詳細設計、入札補助、施工・調達監理。機材及び施設維持管理等にかかる技術指導。

ウ) 調達・施工方法：詳細は協力準備調査で確認する。

##### ② 期待される開発効果

ハイリスク妊産婦・新生児への保健医療サービス提供体制が強化されることにより、モザンビークの母子保健サービス向上への貢献が期待される。

##### ③ 計画実施機関／実施体制：保健省施設機材局（Ministry of Health、Department of Infrastructure and Medical Equipment）

他機関との連携・役割分担：特になし。

##### ④ 運営／維持管理体制：マプト中央病院が維持管理を行う。機材保守契約付帯の要否含め、協力準備調査にて詳細確認する。

#### (2) その他特記事項

- 環境社会配慮カテゴリ分類：C
- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）
- 本計画は、公的医療機関による無料のサービス提供により、貧困層の保健医療サービスアクセス向上に資する。また、本計画は新生児棟の混雑緩和による院内感染の予防や、出産から新生児までの継続ケアによる HIV の垂直感染の予防等、感染症対策に資する。

### 4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

スリランカ民主主義共和国向け無償資金協力「ジャフナ教育病院中央機能改善計

画」(評価年度 2015 年)の事後評価等では、環境変化により医療サービスの早急な拡充が予想される場合は、過大設計にならないように留意し、拡充ニーズに将来対応可能な設計にすることが望ましいとされた。本計画においても、人口の都市部への集中や増加率を勘案しつつ、多くの建物で手狭になっている病院敷地の有効活用と診療部門間の連携を考慮した病院設計とすることで、拡大する医療ニーズへの対応を図る。

以 上

[別添資料] マプト中央病院新生児棟整備計画 地図



出典 : ©2020 Google Map

[別添資料] 写真



マプト中央病院外観